



美しい調べで「前向いて」吹奏楽4団体

能登半島地震と熊本地震の復興支援のため、四つの吹奏楽団体が出演するチャリティーコンサートが14日、熊本市中央区のサンロード新市街であった。街行く多くの人たちが足を止めて、美しい音色に耳を傾けていた。地震復興支援コンサート委員会、市新市街商店街振興組合主催。

崇城大吹奏楽団、同大OBOG吹奏楽団、熊本保健科学大吹奏楽部、熊本県立大吹奏楽部から約30人が出演。「学園天国」「風になりたい」

などアップテンポの楽曲から、「糸」「花は咲く」といったバラード曲まで幅広く演奏した。

崇城大吹奏楽団の弘中瑞輝団長は「今回の演奏が、被災者の皆さんが少しでも前を向いて生活できる力になればうれしい」と話していた。この日は募金も実施。集まった寄付金は日本赤十字社を通し能登半島地震の被災地へ贈られるほか、熊本城災害復旧支援金に活用してもらう。

(緒方李咲)